送付先：県薬事務局　FAX 024-547-2313　mail jim@fukuyaku.org

報告日：令和　　年　　月　　日（　　）

|  |  |
| --- | --- |
| **報告者情報** |  |
| 所属地域薬剤師会名：　　　　　　薬剤師会 |
| 薬局名： |
| 当該事例対応薬剤師の薬剤師歴：□1-4年　□5-9年　□10-14年　□15-19年　□20年以上 |
| **対象患者情報** |  |
| 年齢： | □0-9歳　□10-19歳　□20-29歳　□30-39歳　□40-49歳　□50-59歳　□60-69歳□70-79歳　□80-89歳　□90歳以上　□不明 |
| 性別： | □男性　□女性　□不明 | 区分： | □外来治療　□在宅医療　□その他（　　　　　　　　　） |
| **事例分類** | 発生年月：　　年　　　月介入のタイミング：□処方箋調剤　□調剤後のフォローアップ　□医師等からの問合せ　□その他（　　　　　　　　　　　） |
|  |
| □副作用未然回避報告　□副作用重篤化回避報告　□quality of life（QOL）向上□その他（薬物治療効果の向上に寄与した事例等） |
| 当該治療薬が関係する疾患：□がん　　□脳卒中（高血圧も含む）　　□急性心筋梗塞（心不全も含む）　　　　　　　　　　　　　□糖尿病　□精神疾患（認知症も含む）　□その他 |
| **薬剤関連問題の分類** |  |
| □**処方間違いに関する問題**└□薬剤処方間違い　□処方もれ（必要な薬剤の処方なし）　□中止薬の処方 |
| □**薬剤選択に関する問題**　└□禁忌（併用禁忌を除く）　□同種同効薬の重複　□中止可能な薬剤の投与　□不適切な薬剤選択　　□慎重投与　□妊婦・授乳婦 |
| □**投与量に関する問題**　└□過量投与（同成分薬の重複投与）　□過量投与（重複投与を除く）　□過少投与 |
| □**用法に関する問題**　└□休薬期間不足　□不適切な投与タイミング　□不適切な錠剤の粉砕・半錠等　　□処方日数過不足（治療上の問題）　□患者への指示と処方内容の用法の不一致 |
| □**薬物相互作用に関する問題**　└□併用禁忌（薬物間）　□併用禁忌（健康食品、食事等）　□併用注意（薬物間）　□併用注意（健康食品、食事等） |
| □**治療効果に関する問題**　└□未治療の症状の聴取　□治療効果不十分 |
| □**アドヒアランスに関する問題**　└□服用困難な剤形　□ｱﾄﾞﾋｱﾗﾝｽ不良（服薬管理困難）　□ｱﾄﾞﾋｱﾗﾝｽ不良（患者・家族の自己判断）　　□服薬管理困難の可能性　□処方日数不足（服薬上の問題）　□残薬 |
| □**副作用に関する問題**　└□重大な副作用の発生　□その他の副作用の発生　□重大な副作用の既往　□その他の副作用の既往 |

|  |  |
| --- | --- |
| **処方内容** |  |
| 当該事例に関係した薬剤について　□抗がん剤　□ハイリスク薬※　□その他の薬剤※ハイリスク薬とは、「薬局におけるハイリスク薬の薬学的管理指導に関する業務ガイドライン（第２版）に基づき、免疫抑制剤、血液凝固阻止剤、ジギタリス製剤、テオフィリン製剤、精神神経用剤、糖尿病用剤、膵臓ホルモン剤、および抗HIV用剤と定義する。また、抗悪性腫瘍剤は、「抗がん剤」とする。 |
| 【情報提供前】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 薬剤名 | 用量 | 用法 | 処方日数 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

【情報提供後】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 薬剤名 | 用量 | 用法 | 処方日数 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

 |
| **経緯・回避できた事由** |  |
|  |